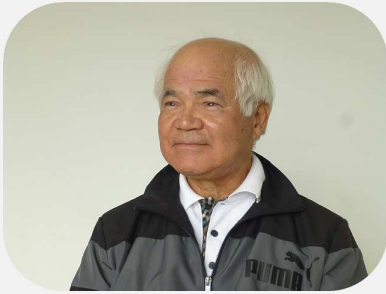




〇〇に興味ありますか？



高田町内会会長
宮田 寿雄

広辞苑によれば「興味」とは物事をおもしろいと感じることだそうです。

8月 民生委員改選に伴い役員全員で委員選出活動

9月 班長さんを中心に会員交流会(山梨方面へ日帰りバス旅行)

10月 高田中学校校庭にて高田地区大運動会

最近行った町内会活動に興味ありますか？

今年はラグビーW杯“一生に一度？”の日本開催です。日本チーム
念願の8強目指して4トライ！

ラグビーに興味ありますか？

興味が有る無しで物の見方が変わります。行動も変わります。

後期の町内会活動も盛り沢山です。ご期待下さい。

年末より年始にかけて次年度理事の選出を行います。理事選挙に興味ありますか？

各行事に関するご案内は総て事前に回覧・掲示板を通じて行います。

会員の皆様、毎月配布される回覧・掲示物に興味を持って下さい。

親交を深めた「葡萄、ワイン、バーベキュー、古寺」

会員交流会 参加者50名
令和元年9月29日(日)



高田出発時は曇天でしたが、山梨の勝沼方面は暑すぎるほどの晴天となりました。まず売り切れになる恐れがあるので真っ先に信玄餅の桔梗屋に予定を変更しました。店内は先に着いていた観光客ですでにごった返し、アウトレット商品の「信玄餅」コーナーは、黒山の人。やっと手にし、レジの列に並ぶとお店を出るまでに30分かかりました。工場見学まで行けた人は僅かでした。

次に一宮の葡萄園でブドウ狩り。食べ放題といっても、一人ひと房がやっと。3種類のブドウがあったので5~6人のグループになり、分け合い食べ比べをしました。



次の「マンズワイナリー」では見学した後、試飲をしました。ジュースは一人1杯までなのですが、ワインは何杯でもおかわりが出来、たっぷり飲まれた人もいたようです。好きなワインをグラスで注文して飲むことも出来、お土産にも購入されていました。



昼食は「ぶどうの丘」でバーベキュー。強い日差しと、コンロからの熱を浴びながらビーフとポークをたっぷり食べました。バスの出発予定時間が過ぎるほど会話も弾みました。食後は大善寺(ぶどう寺)を参拝。100段を超える石段を、アルコールや、重くなったお腹で息を切らせながら登りました。何故、大善寺がぶどう寺とよばれるようになったか？それは養老2年(718)真言宗智山派の僧、行基が甲斐の国勝沼の柏尾で、夢の中に葡萄を持った薬師如来が現れ、早速そのお姿を刻んで安置されたことに由来するそうです。以来薬園を作り、村人に葡萄の作り方を教えたので甲州が葡萄の産地になったそうです。今回の交流会は飲んで食べて故事来歴にも触れ、身も心も満足の日となりました。





運動会準備をする役員



賞品配布に参加者の皆さん



高田中ブラスバンド部の演奏

今までに経験したことのない超大型台風19号が、12日の午後直撃をし、予定をしていた12日の準備ができず、13日の台風一過の晴天の下で行いました。ところが、運動会当日の空模様は小雨。朝には花火を上げ、少しでも天気が回復したら実施しようとしていましたが、残念ながら中止にしました。

大会会長が中止を宣言し、係別に賞品配布の打ち合わせをし、およそ200人の参加者に配布をしました。賞品が無くなるまで何回も並び、抱えきれない程の物を手にして家路に着く人もいました。その後、中学生によるブラスバンド部演奏が行われ、役員が聞き入りました。

9月から準備を進めてきましたが、残念ながら中止にしました。

最後のご挨拶で横田高田中学校長が「高田地域の連帯感を強く感じました」と述べられたことが印象に残りました。



中止宣言をする宮田大会会長



元気に賞品配布



締めくくりのご挨拶

高田って どんどころ？ -21-

寺子屋から高田小学校へ



高田学舎設立が記述された看板

横浜市立高田小学校は、興禅寺の一室を借りて住職興国澄淵(ちょうえん)が寺子屋として筆子に読み書きを教えていました。明治7年8月1日(1874)には高田学舎として興国亮淵(りょうえん)が教師となり、スタートをしました。明治5年に学制が制定。僅か二年で開校したのですから、非常に早かったといえます。もっともこの頃は、寺子屋だったものを〇〇学舎として創立した学校も多かったようです。教室は興禅寺の一室を使っていましたが、明治13年3月30日に現在の墓地の中に新築して移りました。後に「楠校舎」と言われる事になります。

大正14年1月1日に現在の高田町1774番地に移転するまでの66年間この地にありました。その間増築について小学校記念誌に記述があります。

私は昭和31年に入学しましたが、そのころ校庭は今の半分ぐらいで、ポプラの木は敷地のはずれに何本かがありました。また、1,2年の頃校庭に手動の井戸があり、イロハモミジが植えられていました。現在のプレハブ校舎のあたりだと思われます。

今このモミジは東門の近くに移植されています。この木を見ると時の流れを感じます。(金子正一)



井戸の近くにあったイロハモミジ

編集後記 9月、市が主催する「広報紙作成講習会」で「高田町内会だより」が大きく取り上げられました。神奈川新聞社の講師から「毎回の参加ですが、年々良くなり感心します。(略)『高田ってどんどころ?』も毎回楽しみです」。他にも話題にして頂きました。これからも、見て分かりやすい広報紙をめざします。(M. M)